



『ボークール市の学校』

Vol.3

フランスの義務教育は、6歳〜16歳までの10年間。学年制度は小・中・高、5・4・3制です。小学校はエコール・エレメンタール、中学校はコレージュ、高校はリセと呼ばれます。

ボークール市には2つ小学校があり、神埼市では現在サントルA小学校との交流を行っています。昨年はジャコウ先生が代表団の一員として神埼市を訪問され、市内の小中

学校を興味深く見学されました。ジャコウ先生クラスでは、フランス語のほか、外国語教育として英語・ドイツ語の学習をされています。

また、姉妹都市提携時の元町長を招いた歴史の授業や短い日本語を用いた作品（紙芝居やクリスマスカード）制作など、日本や神埼市を知る授業も積極的に行われています。

今年の6月、ボークール市では、1936年に脊振山で墜落遭難後、住民に救出された冒険飛行家アンドレ・ジャビー氏に関する劇が初めて上演されました。

お知らせ

11/11(土)『元気かんざき市民交流祭』内で、姉妹都市交流コーナーが設置されます。ぜひお立ち寄り下さい！

サントルA小学校
ジュスティヌ・ジャコウ先生



ボークール市児童によるアンドレ・ジャビー氏の劇

【情報提供】ボークール市

身近なフランス語を話してみましょう！



シルブプレ！

S'il vous plait!
お願いします。

※英語の「プリーズ」にあたります。「コーヒーをお願いします」は「アン カフェ シルブプレ」です。

市内の小学校と音楽院の共同制作で、劇の内容は新聞記事を元に制作し、セリフは先生と生徒たちで考えたそうです。劇の最後には、日本で「蛍の光」として知られる歌が、日本語・フランス語で披露され、生徒たちの熱演に対し、たくさんのお知らせがありました。

◎問い合わせ 企画課
企画係 ☎37-0102